

重電機器受注生産品の受注実績 2017年度 第IV四半期(1~3月)

JEMAでは、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の「2017年度 第IV四半期(1~3月)」の出荷実績を公表致します。

2017年度 第IV四半期(1~3月)の概要

第IV四半期の受注額は5,080億円(前年同期比106.0%)と前年同期比増加となった。

(※以下、前年同期比は「同」と略記)

内需は同減少だが(製造業は増加、非製造業は前年並み、官公需は減少)、外需は大幅に同増加となった。

【需要者別動向】

- ◆ 内需は3,478億円(同95.5%)と、5四半期連続の同減少となった。

官公需の同減少が主な要因となった。

- ・ 製造業は742億円(同104.9%)と、4四半期連続の同増加となり、増加基調が継続している。主要需要先で見ると、鉄鋼業、電気・情報通信は同減少、繊維・化学・窯業・土石、はん用・生産用・業務用機械、自動車は同増加となった。

- ・ 非製造業は2,287億円(同99.7%)と、前期の減少からやや回復し、前年並みとなった。

- ・ 大口需要先である電力業が5四半期ぶりに回復し、前年並みとなった。

- ・ 官公需は472億円(同78.6%)と、前期の増加から転じて同減少となった。

- ・ 大口需要先である地方公務が前期の増加から転じて同減少となった。

- ◆ 外需は1,602億円(同139.3%)と、電力業向けの特に発電分野が前期の減少から回復し、一般産業向けも好調であり、大幅に同増加となった。

【製品別動向】

- ・ 発電機(内需減、外需増)、交流電動機(内需増、外需増)、制御装置(内需減、外需増)は、外需の回復が主な要因となり、同増加となった。

- ・ 電力変換装置(内需減、外需減)、変圧器(内需減、外需増)、遮断機(内需減、外需増)、配電装置(内需減、外需増)は、内需の伸び悩みが主な要因となり、同減少となった。

2017年度の概要

2017年度の受注額は1兆7,270億円(同100.3%)と前年並みとなった。堅調な水準を維持している。

- ◆ 内需は1兆2,300億円(94.7%)と同減少となった。製造業は同増加となったが、非製造業、官公需が同減少となった。

- ・ 製造業は2,755億円(106.8%)と同増加となった。主要需要先で見ると、鉄鋼業は同減少、電気・情報通信は前年並み、繊維・化学・窯業・土石、はん用・生産用・業務用機械、自動車は同増加となった。

- ・ 非製造業は7,409億円(92.9%)と同減少となった。大口需要先である電力業が同減少となった。

- ◆ 外需は4,970億円(117.4%)と、電力業向け及び一般産業向けの回復により、大幅に同増加となった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■ 対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・ 需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。

- ・ 重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■ 公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

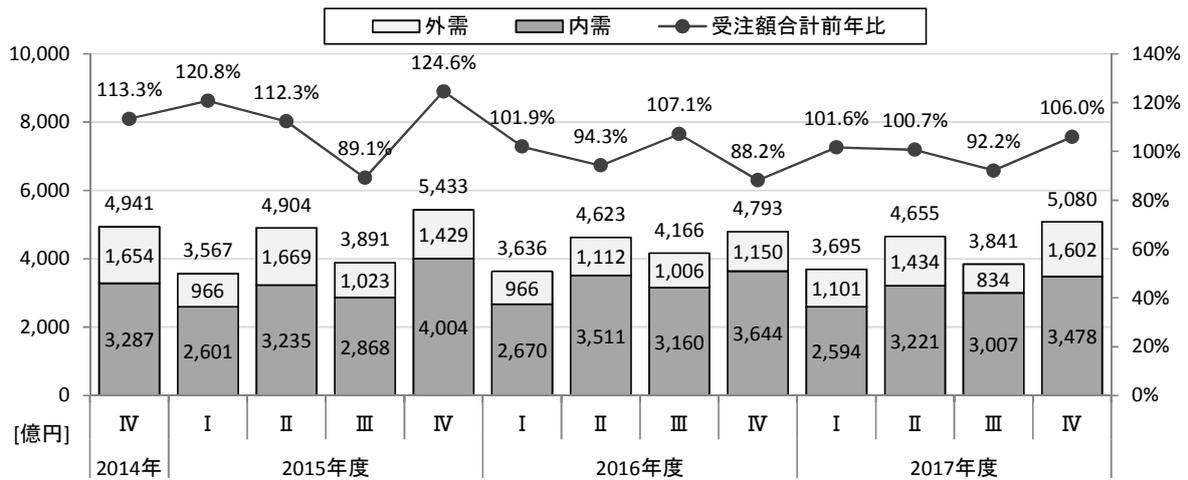
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■ 公表の種類

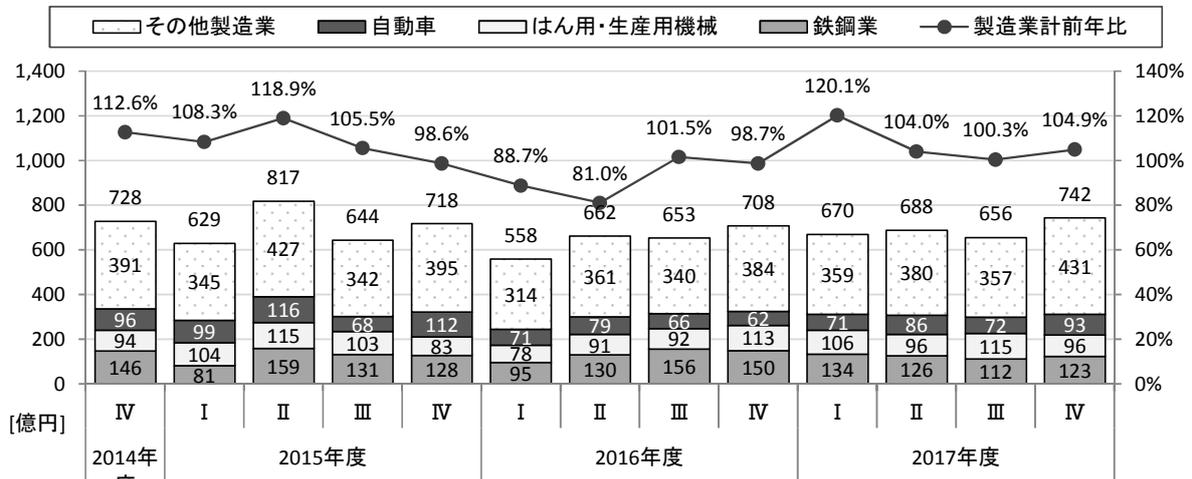
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

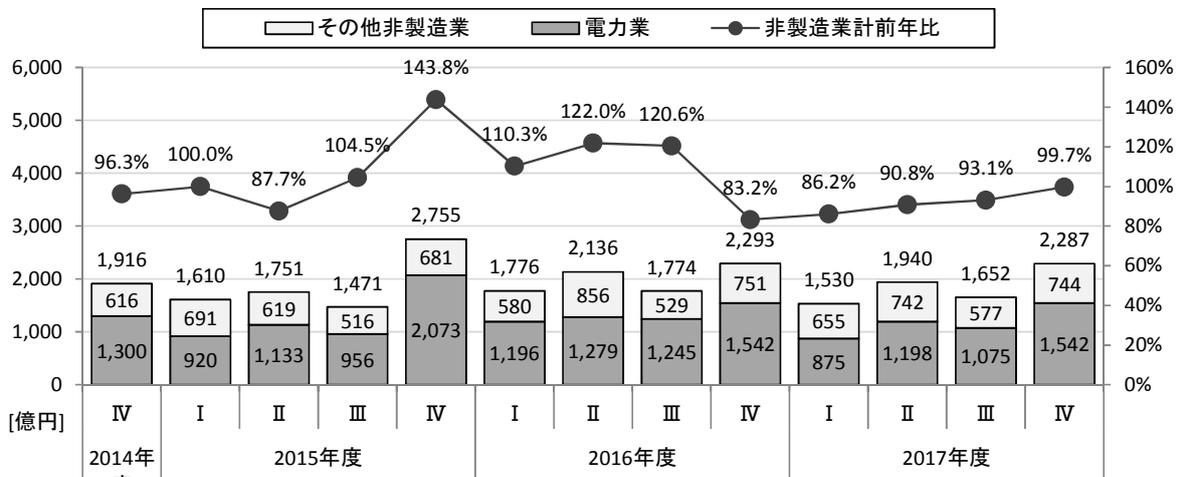
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)

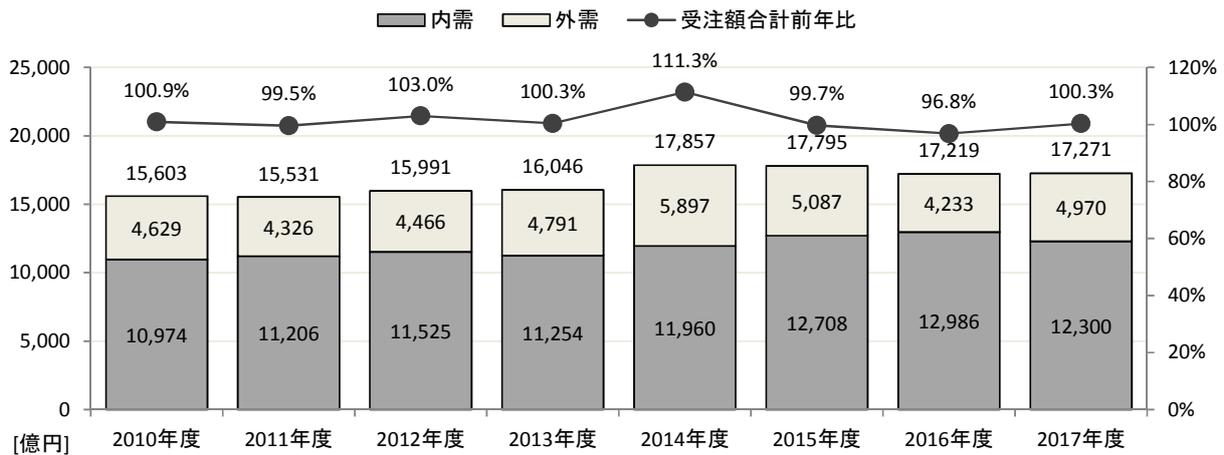


内需の内訳(非製造業)

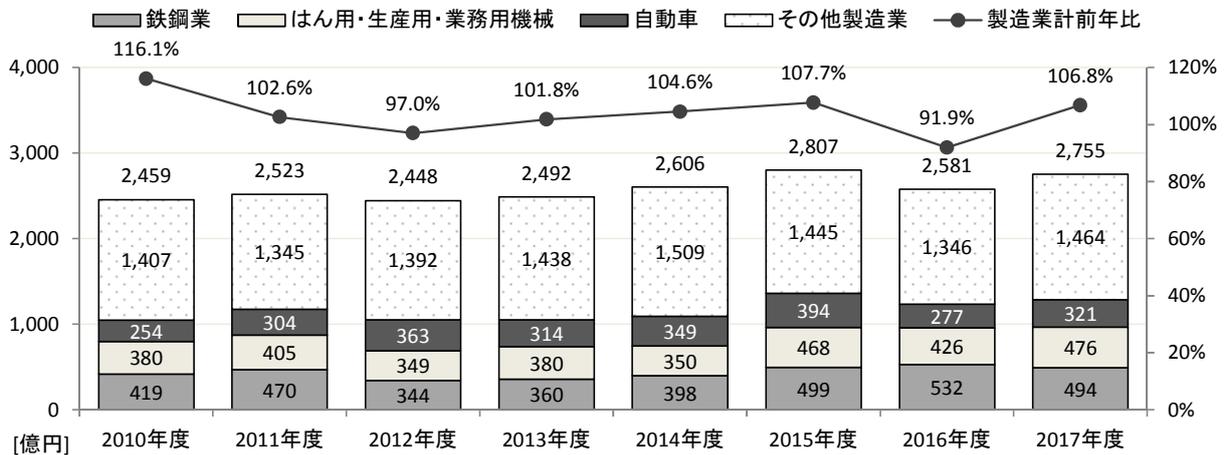


年度実績の推移

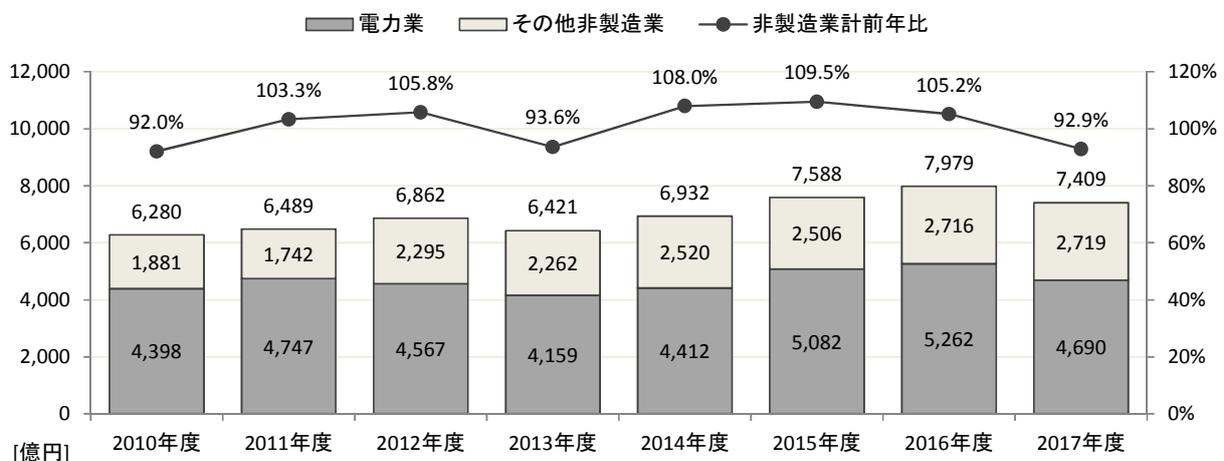
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL: 03-3556-5885

重電部 調査統計課